

私たちが、

鳥羽市地域おこし協力隊新規隊員です

「地域おこし協力隊」とは総務省の制度で、都市地域から地方へ移住し、農林水産業への従事や地域の生活支援、情報発信などの「地域協力活動」を地域住民と共に行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

市では、平成27年から地域おこし協力隊を委嘱しており、令和3年7月から鳥羽なかまちに2人、離島地域に1人の地域おこし協力隊が着任し、累計12人となりました。新たに着任した新規隊員3人を紹介します！

企画財政課移住・定住係

☎ ②5 1227



新規隊員紹介

よこお そういちろう
横尾 総一郎 (23歳)

- 配属先 離島地域 (菅島町)
- 担当業務 持続・循環可能な強い島を創る「仕組みクリエイター」
- 前住所 東京都三鷹市

環境保全と経済活動がつながるシステムの構築を進めたいと考えており、菅島の課題と一致していると感じました。離島を中心に環境・文化・経済の循環を最重要課題として、クリエイティブな活動を行います。

おおひなた かずひろ
大日方 一皓 (25歳)

- 配属先 鳥羽なかまち
- 担当業務 集いの空間づくり
- 前住所 東京都渋谷区

鳥羽のみなさんが地域に誇りを持つことができ、魅力を増大していくため、みなさんの補助をしていきます。鳥羽市を持続可能なまちにするための人材となれるよう頑張ります。

くさか ようた
日下 耀太 (26歳)

- 配属先 鳥羽なかまち
- 担当業務 集いの空間づくり
- 前住所 奈良県奈良市

大学時代にさまざまな地域のかたとコミュニケーションをとり、どのような問題点があるのかを実際に地域に足を運び体感し、問題解決方法を考えていました。鳥羽市でも地域における目標を住民のかたと一緒に考え、より魅力的なまちにしていきたいです。

